シャイン研修

先輩のしくじりエピソードから学ぶ 産業保健師としての失敗体験を共有

シャイン研修とは、産業保健師を対象に”輝く 明日の私と仕事”をテーマにした体験型研修です。このレポートでは、10月に行われた研修の一部をご紹介します。

開催日時：2023年10月20日 18:30-20:00
会場：アポプラスキャリア株式会社　本社内
講師：久保さやか 看護師　保健師
アポプラスキャリア株式会社　エグゼクティブアドバイザー

テーマは、しくじりエピソード

一般的な産業保健師の業務内容や、成功事例については、教科書や学会発表などから学ぶことができます。しかし、失敗した経験については、公開されることはなく、公に語られることもありません。特に、産業保健師として経験が浅い場合、そもそも何が成功で、失敗なのか判別することも、難しいものです。

ゲストの失敗体験を共有

10月のシャイン研修では、現役の産業保健師２名をゲストに招き、これまでの互いの失敗談を共有しながら、「失敗から共に学ぶこと」をテーマに語り合いをしました。

ゲストからは、「復職面談で社員が泣いてしまったこと」や「健診結果に異常がない社員への保健指導」など、貴重なエピソードを伺いました。また、過去の失敗談を語ることで、振り返りにも繋がり、今後保健師として働く上で、大切にしたいことも語られていきました。

語られた言葉の中で、「社員の不安定さを理解し、性格的な特徴をアセスメントする重要性」や、「健診結果に異常がなくても、保健師として役立つことを考えること」などは、聞いていた参加者も、うなずく方が多くいました。

参加者同士で分かち合う

ゲストからの失敗談を共有した後、参加者同士で感想や自分自身の取り組みについて語り合いました。特に、健診結果上、何も異常所見がない社員に対して、保健師としてどのような指導を行うのか、何ができるかについて、熱心に話し合われたようです。

1人職場の参加者も多く、他社の保健師がどのような考えを持っているのかを知ることで、自分自身の考えを深める貴重な時間となりました。

立ち止まり、ふりかえる

今回のゲストの失敗談は、企業にとって致命的なレベルではありませんでした。しかし、そのような小さな失敗であっても、自己嫌悪や後ろめたさが残ります。ついつい早く忘れたくなりますが、その経験から何を学び、次にどう活かすかを考えることが大切です。

皆さんも、自分自身の失敗について、立ち止まり、振り返ってみてはいかがでしょうか？

次回のシャイン研修もお楽しみに！

参加者の感想

失敗体験は、振り返ることで、今後の役に立つことが分かりました。ゲストのエピソードを通して、新しい考え方を得ることが出来ました。

マニュアル通りではなく、型にはまらない保健師対応ができるよう、スキルを上げていきたいです。

お問合せ先
アポプラスキャリア株式会社
ヘルスケアソリューション事業部
カスタマーサクセス
〒100-0005
東京都千代田区丸の内三丁目3番1号
新東京ビル7階
TEL 0120-842-862
MAIL apc-kan543@ap-c.co.jp

アポプラスキャリア 株式会社